

環境
レポート

2005

益田電力所

CONTENTS

ごあいさつ	-----	1
環境方針	-----	2
推進体制	-----	3
環境管理目標	-----	3
TOPICS	-----	4
事業所概要	-----	9

ごあいさつ

益田電力所は、島根県西部のお客さまに電気を安定してお届けするため、水力発電所・変電所・送電線および通信設備の工事・保守・運転などの業務を行っています。

当電力所では、環境に配慮した事業活動を一層充実させるため、環境管理に関する体制・制度を整え、2003年11月には国際規格であるISO14001の認証を取得しました。私達は、この環境管理体制・制度に基づき、次のページに記載した環境方針を定めて行動し、有効かつ継続的な環境活動を展開していきたいと考えています。

なお、この環境方針の背景デザインには、地域に根ざした活動とするために、益田市にゆかりの深い柿本人麿を採用しております。万葉の歌人である柿本人麿は、大和朝廷の役人としてこの地に赴任し、生涯を終えたと言われていています。益田市には人麿に関する旧所・名跡が数多くあり、毎年多くの観光客が訪れています。

皆さま方には、本レポートをご覧いただき、当電力所の具体的な環境活動についてご理解いただきますとともに、ご感想・ご意見などをぜひとも私どもにお寄せいただきますようお願い申し上げます。

私どもは、地域の皆さまからお聞かせいただいた声をもとに、さらに充実した環境活動、事業活動を推進していくことで、地域のみなさまからよりいっそう信頼され、愛される企業となることを目指していきます。今後とも当社の事業活動に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

2005年4月
益田電力所長

渡辺 和夫





環境方針



環境マネジメントシステム 環境方針

1. 省エネルギー・省資源・リサイクルを推進して環境負荷を低減するとともに、環境汚染の予防に努めます。
2. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 環境に関わる法律・条例・協定などを遵守します。
4. 環境目的及び目標を、この方針に基づいて設定し、その実現に努め、継続定期に見直します。
5. この方針を文書化して全所属員に周知するとともに、社外からご要望があれば公開します。

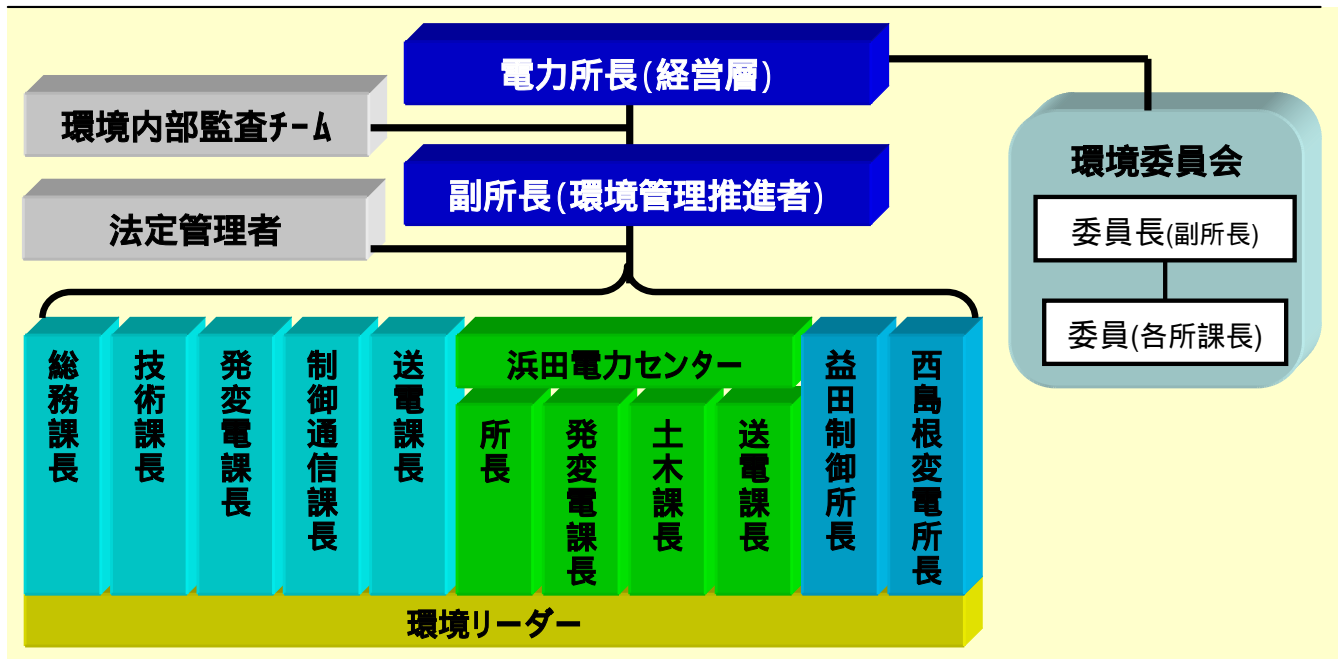
平成13年7月19日 益田電力所長

中国電力
益田電力所





環境管理推進体制



環境管理目標

平成 17 年度の主な環境目標は以下のとおりです。

項目	目標値	主な方策
微量 P C B 含有機器の適正管理	漏油・紛失・流出 0 件	機器状態の健全性確保， 巡視の徹底
可燃物排出量の低減	3,503 kg 以下	分別の徹底
建設廃材等のリサイクル等による有効活用	40 % 以上	空き電線ドラムのリサイクル 等
自動車燃費の向上	ディーゼル車 9.3 km / ㍓以上	エコドライブの徹底， 低燃費車の優先使用
	ガソリン車 12.3 km / ㍓以上	
事務用紙使用量の削減	2,925 kg 以下	会議配布資料の低減， 両面印刷の推進 等
機器点検時の S F 6 ガス回収率	97 % 以上	ガス回収装置による回収 等
低公害車の導入	車両入替時の選定	
水道使用量の低減	1,079 ㍓以下	水道減圧，茶器類の一括洗浄， 漏水の早期発見 等
事務所電気使用量の低減	46万5千 kWh 以下	主電源のこまめな入切，夏季の ノックタイ 等

平成 13 年度実績値の 4 % 削減値。



事務所内の取組み



〈廃棄物の低減〉

紙ゴミを減らすために、会議資料にパソコンとプロジェクターを活用し、紙資料の配布を極力減らす等の取組みを行っています。

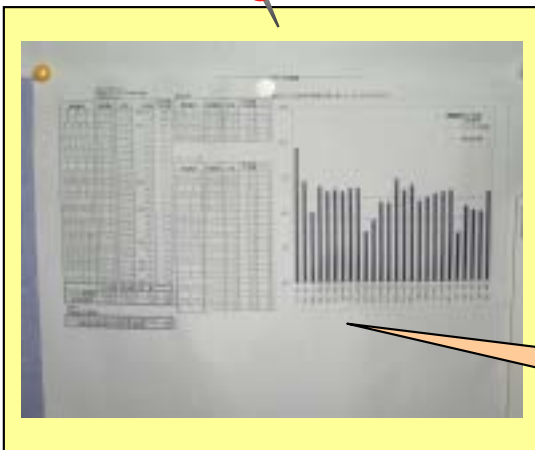
資料の訂正も、できる限りその場で言い、参加者全員で確認しています。



〈省エネルギーの推進〉

事務所で使用する電気のムダ使いを減らすために、室温に応じたきめ細かな電源の入り切りを行う、夏季はノーネクタイ運動により冷房温度の高め設定を行う、等の取組みを行っています。

冷暖房操作スイッチの近くに温湿度計を設置し、冷やしすぎ・暖めすぎのないようチェックしています。



〈省資源の推進〉

当電力所では、業務で自動車を利用することが多く、多くの燃料を使用しています。このため、エコドライブに努めるとともに、燃費の良い車を優先して利用するよう心がけています。

各車両の燃費データは掲示板等で公表しています。



地域への貢献

〈海岸清掃活動〉



毎年6月の海水浴シーズン前に、益田市喜阿弥海岸の清掃活動を実施しています。

この清掃活動は、当社益田営業所をはじめとした地元エネルギーグループ各社と一体で取り組んでいます。

〈次世代層へのエネルギー教育支援活動〉



当社では、次世代層に環境やエネルギーに興味を持っていただくため、「エネルギー教育支援活動」を行っています。

当電力所では、益田市内の小中学校で出前授業を行うとともに、小学校向けの広報誌「益田制御所だより」を島根県西部の84小学校などに配布しています。



平成16年は、島根県立大学（浜田市）の大学祭に参加させていただき、当社事業の取組みに関するパネル展示や、親子連れを対象にした「手作り風力発電機工作」を実施しました。



〈苗木の植付けの実施〉



毎年の電気記念日(3月25日)には、各事業所周辺の学校や施設に赴き、皆さんと一緒に苗木の植付けを行っています。



変電所工事・維持での取り組み

〈温室効果ガスの排出抑制〉



SF₆ガス回収装置

変電所機器の中には、優れた電気絶縁特性をもつ六フッ化硫黄(SF₆)ガスを利用しているものがあります。

このガスは温室効果ガスであるため、機器点検等の際にはガス回収装置を使用し、大気中に放出しないようにしています。

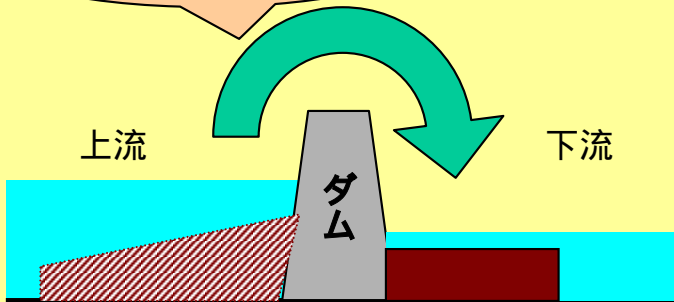
また、地震で機器が破損した際に、ガスの漏洩を早急に止めるための訓練も実施しています。



水力発電所工事・維持での取組み

〈ダム堆積土砂の活用〉

堆積した土砂をダム
下流側に戻します



匹見水力発電所の取水ダムは、急流の匹見川にあり、多くの土砂が流れ込んでくるため、毎年、ダム上流側に堆積した土砂を河川外の土捨て場へ搬出し処理していました。

しかし、この方法ではダム下流側に土砂が流れ込まず、下流側川底の低下が懸念されることから、上流側で取り除いた土砂を下流側河川に戻すようにしました。これにより、河川外土捨て場での土砂処理も不要となり、環境への影響を大幅に軽減しています。

〈タービン油の廃棄量削減〉



水力発電所では、発電機の軸受けなどに潤滑油(タービン油)を使用しています。タービン油は、使用に伴い汚れが発生するため、定期的に変換しています。

交換で発生する使用済みタービン油は、全て回収し、リサイクル処理することで有効に再利用しています。

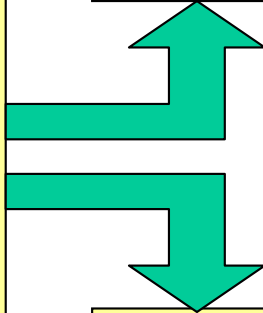


送電線・通信線工事での取組み

〈電線ドラムの有効活用〉

工事で使用する電線は、通常、木製のドラムに巻き付けて運搬されてきます。木製ドラムは、工事後は不要となるため、従来は廃棄処分していました。

現在では、この使用済みドラムのうち、比較的大きなものはリサイクルしドラムとして再度製品化しています。



また、比較的小さな電線ドラムは、木製プランターとして製品加工し販売しています。



事業所概要

設備概要

事業所：4箇所（益田電力所，益田制御所，浜田電力センター，西島根変電所）
 社員数：130名
 発電所：水力発電所 6箇所
 変電所：16箇所

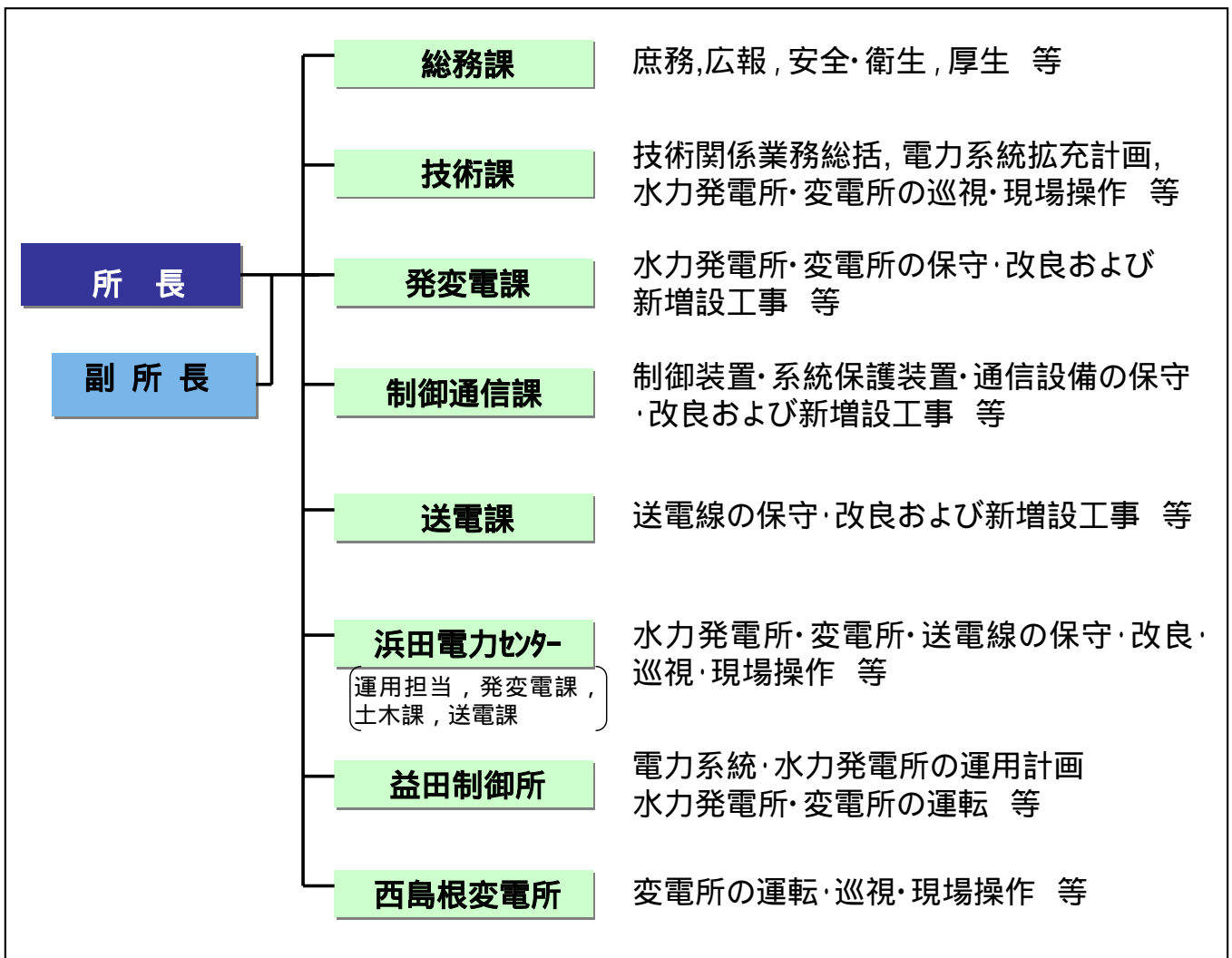
担当地域

島根県西部地域（13市町村）


益田市 浜田市 江津市
 鹿足郡（津和野町・日原町・六日市町，柿木村）
 那賀郡（金城町・旭町・三隅町，弥栄村）
 邑智郡（邑南町） 邇摩郡（温泉津町）



組織と業務





 **中国電力株式会社 益田電力所**

所在地 : 〒698-0021 島根県益田市幸町1-5

TEL : (0856)23-4141

FAX : (0856)24-1064

アクセス : JR益田駅から医光寺方面へバスで約6分。石見交通本社前バス停で下車徒歩1分。